

品川区教育委員会会議記録

平成 27 年 第 10 回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成 27 年 7 月 14 日

開 会 午後 1 時 30 分

閉 会 午後 3 時 00 分

出席委員	委 員 長	鈴木 敏夫
	委員長職務代理者	市川 信之助
	委 員	波多野 美佳
	委 員	菅谷 正美
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	本城 善之
	庶務課長	品川 義輝
	学務課長	野呂瀬 久
	指導課長	渋谷 正宏
	教育総合支援センター長	村尾 勝利
	品川図書館長	木村 浩一

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に市川委員、波多野委員を指名。 日程第3 報告事項「都費教職員の任免等に関する内申について（休職）」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
---------------------------------	---

件名	日程第1 陳情審査 2015年度教科書採択についての陳情
担当課説明等	（書記より陳情朗読） （教育総合支援センター長） <ul style="list-style-type: none"> 陳情書の1番目については、教科書採択にあたり、「品川区立小・中学校使用教科用図書採択要綱」に基づき、「調査検討委員会」と「調査研究会」の2つの調査研究機関を設けている。「調査検討委員会」には、校長、副校長と専門的立場から指導助言する学識経験者、そして保護者・区民の代表が入っている。また、「調査研究会」には、校長・副校長を含めた数名の教科担当の教員が調査・研究にあたっており、教育現場の意見は十分に聞いているものと考えている。 陳情書の2番目については、採択の対象となっている教科書は、すべて文部科学省の検定基準に合格したもので、当然、日本国憲法の理念に基づいている。また、品川区教育委員会は、本区で学ぶ子どもたちにとって最適な教科書を選ぶため、検定に合格した全ての教科書の中から、法や学習指導要領の趣旨を踏まえ、今後、本委員会において公平・公正に採択するものである。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	（委員A） <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会が検討する教科書は、全て文部科学省の検定基準に合格している。文部科学省の検定は法に基づくものであり、その中から教科書を選ぶため、法に基づいた選定だと言える。また、理事者から説明があったように、調査検討委員会、調査研究会を設け、先生方や保護者の声を聞いており、公平・公正に行っている。そのため、不採択が妥当だと考える。 （委員一同） <ul style="list-style-type: none"> 異議なし
議事結果	不採択

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成28年度品川区立中学校等使用教科用図書の仮採択について（数学）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（教育総合支援センター長） ・ 指導主事より説明する （指導主事） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員D） ・ 各社、練習問題をいくつか取り入れているが、問題数の多少は授業に影響するのか。 ・ 索引に英語が使用されている教科書があるが、実生活で使用できそうな英語の記載があり良いと感じた。検討委員会でそのことについて何か意見はあったか。 （委員C） ・ 区の課題は「関係を表す式」であると説明があったが、それ以外にどのような課題があるのか。 ・ 数学は3年間で出版社が変わることで、何か問題は生じるのか。 （委員A） ・ 1年間の限られた時間の中で、問題数を多く記載している教科書は使いこなせるのか。 （委員E） ・ 数学は、思考力を高めることが大切であるが、品川区小中一貫教育要領と照らし、思考力を高められる教科書はどれか。 （委員B） ・ 巻末に正十二面体の展開図などの付録がついているが、検討委員会で何か意見があったか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導主事） ・ 教科書に記載される問題数の多少は、調査検討委員会でも話題に上がったが、問題数の多少に関わらず、教員が必要に応じて問題を用意することがあるため、大きな差異はないとの意見であった。 ・ 索引に英語が使用されていることについて、英語に触れる機会が増え、数学の興味関心につながることで、また、例えば、直線をlで表しているが、それが何という単語の頭文字なのかを索引を見ればわかることが良いとの意見があった。 ・ 区の課題は「関係を表す式」が第一であり、続いて「度数分布」である。 ・ 数学は、どの教科書を使用しても各学年で教える単元が決まっているため、問題は生じない。 ・ 限られた時間の中で、多くの問題を記載している教科書を使用することは、良いとも悪いとも言えず、若手の教員にとっては、どちらも工夫が必要であるとの意見があった。しかし、その中でも各単元において、導入がわかりやすい作りになっている教科書は使用しやすいとの意見があった。具体的には、一次関数の導入の例題で、列車の速さと距離についての記載や鍾乳石の長さや時間を使用している教科書に比べ、水槽に水を入れた時の時間と水面の高さを例示している教科書の方が、教室ですぐに実験でき、導入としては指導しやすいとの意見があった。 ・ 品川区小中一貫教育要領において記載されている「点の運動」につい</p>

	<p>て、問題として扱われている教科書は、A社とC社である。また、「三角形の五心」について、外心、内心に触れている教科書はA社、B社、C社、E社、F社であり、その中でも五心の全てに触れている教科書はC社である。それらは、特に品川区小中一貫教育要領に沿っており、区が考える思考力の充実を得られる教科書だと言える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての教科書の巻末に付録があり、どの教科書でも差異はないとの意見であった。
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポイントを押さえたまとまりのある教科書はC社とF社であると感じるが、巻末の索引で英語が使用されるなど、工夫が見られ充実した教科書だと感じるC社が良いと考える。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品川区小中一貫教育要領に沿った教科書であり、導入が充実しているバランスの取れたC社の教科書が良いと感じる。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員としては、A社のように問題数が多くそれぞれの単元で指導方法を考えながら行わなければならない教科書を使用してみたいが、どの教員も使用しやすく、子どもたちにもわかりやすい作りになっているC社が良いと感じる。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学は、小学校の算数で習ったことを含め、系統的な積み重ねが大切であり、過去に習ったことが理解できていないと次に進めない教科書であると感じる。その意味で、導入が充実しており、視覚的にも興味を持たせるC社が良いと感じる。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記載項目が幅広く充実しており、教員の指導のしやすさ、子どもたちに興味関心を持たせることができる見た目の良さから、C社が良いと感じる。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C社を推す意見が多い。C社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
<p>議事結果</p>	<p>数学はC社で仮決定する。</p>

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 平成28年度品川区立中学校等使用教科用図書の仮採択について（理科）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(教育総合支援センター長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導主事より説明する <p>(指導主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に基づき説明
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C社は、植物や体のことについて、目に見えない電子顕微鏡レベルでの写真を資料として記載していて良いと感じるが、検討委員会では何か意見はあったか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の配列について、A社、B社、E社は化学の単元から始まり、C社、D社は生物の単元からである。東京の学校ということを考えると4月から5月は草花や植物が生える時期であり、生物の単元から始めることは良いと感じるが、検討委員会ではどのような意見があったか。 ・ 2年生の動物の単元では、脊椎動物や無脊椎動物について扱い、脊椎動物について中心的に指導する。そのため、無脊椎動物についての記載量は各社様々であるが、実際の扱いはどのようにになっているか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の配列などを考慮して、教員が使用しやすい教科書はどれか。
<p>事務局説明</p>	<p>(指導主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子顕微鏡で写し出している写真の資料については、検討委員会でも好評だった。教員が意欲を持って取り組み、子どもたちに興味関心を持たせることができるとの意見があった。 ・ 単元の配列については、C社、D社が生命の単元から入っている。これは、物理や化学などの1分野と生物と地学などの2分野を崩して配列しており、子どもたちの科学的な概念の形成に配慮した流れとして工夫している。A社、B社、E社については、1分野と2分野をまとめて配列することにより、系統性を持たせる意図がある。調査検討委員会では、C社やD社の配列が、子どもたちや教員にとって使用しやすいとの意見があった。 ・ 動物の単元では、品川区小中一貫教育要領の中で、脊椎動物を中心に無脊椎動物にも触れて学習することとなっているため、無脊椎動物について全く触れないことはない。教科書の中には、無脊椎動物の解剖について記載しているものがあるが、時間的な余裕がなく、全ての学校で解剖を行っているわけではない。 ・ 単元の配列の観点から使用しやすい教科書は、C社やD社である。また、B社は資料性が高く、別冊を含め問題数が多いため、時間的な制限がなければ充実した内容の教科書だと言えるが、問題数の多さから限られた時間の中でどのように指導して良いか迷ってしまうとの意見があった。
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容的には、B社のような充実したものが良いが、理科嫌いな子どもたちは難しく感じる。C社は子どもたちに興味を持たせられる作りになっており、視覚的にも興味関心を与えられると考える。

	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が教えやすく、また、資料としても充実しているC社が良いと考える。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段見られない電子顕微鏡での写真の記載があり、少しでも理科に興味を持ってもらえること、また、1つの分野を幅広く記載しているC社が良い教科書だと感じる。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> B社とC社が良いと感じる。どちらも災害のことについても触れており、内容が充実して良いと感じるが、B社は教員が子どもたちに指導するという面で難しく使用しづらいと感じる。その点、C社は、内容の充実はもちろん、理科嫌いの子どもたちにも視覚的に興味を持たせることができる教科書だと感じる。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入で、小学校からの系統性を図っており、視覚的に興味を持たせることができるC社が良いと感じる。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> C社を推す意見が多い。C社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし
議事結果	理科はC社で仮決定する。

件名	日程第3 報告事項 都費教職員の任免等に関する内申について（休職）
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。